

岐阜県高山市3地区における 住民の観光に対する意識

坂本有彩・徳山美樹・樋口凜太郎・尾田千侑

公立大学法人 高崎経済大学
観光まちづくり研究室
—You'll Never Walk Alone—

研究の背景

- ・ 日本国内における観光旅行形態の変化
- ・ 観光政策審議会の提言

→観光客と住民の両者が抱いている意識の把握が必要

しかし…

住民の観光に対する意識を把握する試みは少ない

研究の目的

【目的】

ミクロな地域レベルで
住民の観光に対する意識を把握する

- 住民へのインタビュー調査
- 質的データを地区間で比較分析

仮説の設定

【先行研究】

- 公益財団法人日本交通公社（2013）
- 佐々木土師二（2007）

【仮説】

岐阜県高山市の中心市街地エリア内にある3つの地区間で住民の観光に対する意識に差異がある。

研究の方法

文献調査

- 住民意識調査に関する既往研究
- 高山市の景観重点区域に関する情報

インタビュー調査

対象：

中心商業景観重点区域・
三町伝建地区・
下二之町大新町伝建地区
の各地区2名ずつ

調査の概要

■インタビュー調査

主な質問内容

観光客との接点機会

観光客に対する印象

観光関連産業従事者との接点機会

観光関連産業の重要度

調査結果①

1. 観光客に関わる意識

【観光客との接点機会】

全ての回答者が、
「目にすることがある」
「質問されたときは答える」

伝建地区では、
話しかけることもある

【観光客に対する印象】

「どちらとも言えない」 4名
「良い」 2名

観光客は地域経済に
貢献してくれる

調査結果②

2. 観光関連産業に関わる意識

【観光関連産業に関わる意識】

全ての回答者が、
「観光関連産業従事者と接点がある」

仕事仲間
昔からの知り合い

【観光関連産業の重要度】

全ての回答者が、
「とても重要である」

観光による経済
効果への期待

仮説の検証

【仮説】

岐阜県高山市の中心市街地エリア内にある3つの地区間で住民の観光に対する意識に差異がある。

【検証】

総じて、観光振興や観光関連産業を重視。
地区ごとの大きな差異は見られない。

⇒**仮説は採択されない**

考察

高山市にとって…

観光関連産業は大きな柱

→高山市の住民は

- 観光が**身近**にある
- 観光が生み出す**恩恵を重要視**している
- 観光が**生活の基盤**として定着している

伝建地区に残る家業の事業継承に関する提言

伝統技術の継承をサポートする仕組みづくり

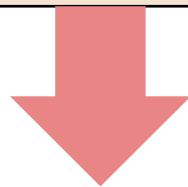
- ・ 地域の生活文化を支えてきた
- ・ 事業を途切れさせるわけにはいかない
- ・ 柳・横山（2009）の指摘

**家業の継承課題を
抱える経営者**

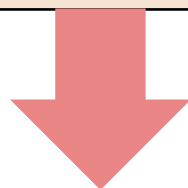
**高山市への移住希望者
伝統技術を学びたい人**

新たな事業継承の形による新規住民の誘致

経営者による事業継承やのれん分け



経営者が新たな住民の世話役になり
地域社会への仲間入りをサポート



地域の担い手となる新たな住民の獲得

ご清聴ありがとうございました

【主な参考文献】

公益財団法人日本交通公社（2013）：『住んでよし、訪れてよしの観光地づくり－まずは住民意識の把握から！「観光に対する住民意識に関する研究」より』公益財団法人日本交通公社研究調査部

佐々木土師二（2007）：『観光旅行の心理学』北大路書房